

自国に誇りと喜びを

オリンピック、パラリン

ピックへの出場を目指して



左：片桐さんはナショナルチームにスタッフとして同行。準備運動、筋力トレーニング、体の調整を担当する。右：20年1月に行われた東京オリンピック・アフリカ大陸予選で優勝して出場が決まった瞬間、チーム全員で喜び合った。左手前が片桐さん。



player's DATA
ケニア共和国
女子バレーボールチーム

- ① 2019年アフリカ選手権準優勝、アフリカ競技大会優勝、ワールドカップ12か国中11位、20年東京オリンピック・アフリカ大陸予選優勝。
- ② ケニア人ならではの身体能力。これまでの日本人指導者から受け継いでいる守備的バレーが得意。
- ③ ケニアの世界ランキングは低い、他の出場国から1試合1セットでも多く勝ち取り、世界を驚かせたい。



トレーニングの
成果を試合で証明!

青年海外協力隊 片桐翔太さん



派遣期間

2019年4月～2021年3月

赴任してすぐに感じたのは、ケニアの選手たちは身体能力が高いものの、バレーボールをするうえでの基礎的な筋力が不足しているということでした。選手だけでなくコーチにもトレーニングの大切さがなかなか伝わらず、トレーニングが試合のどこに生きてくるかを具体的に説明して理解してもらいました。さらには、実践して成果が上がった選手を例に挙げて地道な説明をくり返し、他の選手にも理解を広げ

てきました。

また、ケニアでは選手とコーチの上下関係が強いので、私はその間に立ち、選手が言いづらいことをコーチに伝えるなどして、選手の体の調子にも気を配りました。多民族で構成されるこのチームの活躍が、ケニア人の気持ちをひとつにすることを願っています。

ボツワナの代表チームコーチとして柔道を教えたり、筋力トレーニング指導を行ったりしています。日々稽古が行われる井坪先生記念道場は、私の前任者で任期中に不慮の事故で亡くなった井坪圭佑さんの遺志を継いで2017年に設立されました。大学の柔道部出身だった井坪さんのおかげでボツワナでも細かな指導を受けられるようになり、その教え子たちが今オリンピックを目指しています。

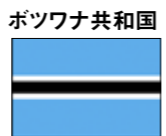
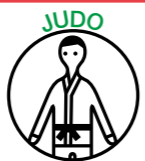
19年には東京で開かれた世界選手権にガビン・モゴバ選手が出場するために日本に遠征し、私の出身地



である青森県で強化合宿に参加しました。柔道に対するモチベーションが上がりましたが、予算の都合上、国外試合にはなかなか出場できません。意識が高まるように選手に声をかけながら稽古に取り組んでいます。

オリンピック
出場を機に
柔道をボツワナに
広めたい

青年海外協力隊
村上瑠希也さん



派遣期間

2018年7月～2020年7月

「笑顔を送った日、
笑った日」



player's DATA
ティヤーナ・アダムス選手

- ① 2018年オセアニア選手権大会出場、2018年第14回FINA短水路世界選手権大会出場、2019年第18回FINA世界選手権大会出場。
- ② 家族や友人からのサポートを力に練習に励んでいる。
- ③ 曾祖父は日本人で、昨年は愛知県江南市を親善訪問。また日本に行くのが楽しみ。



派遣期間

2017年3月～2019年8月
2019年12月～2020年8月

シニア海外ボランティア 高橋昭文さん



プールでの練習以外に陸上トレーニングも取り入れ、朝夕2回、1週間あたり10回前後の練習を行っている。

ミクロネシア水泳連盟の競泳ヘッドコーチをしています。オリンピックには、水泳発展途上国に対する特別枠でミクロネシア連邦から男女一人ずつが出場します。国内唯一のプールは浄化装置の故障、停電、豪雨などの影響を受け、十分とは言えない環境で選手たちは練習に励んでいます。

体力だけでは記録を伸ばせず、技術の向上が必要です。そのために必要な

基本動作を身につける練習に力を入れています。また、プールになかったペースクロック*も購入し、定期的に泳ぎを測定することで選手の意識向上につなげています。60歳を過ぎた私自身も、水泳を通じて選手たちの成長を感じることができて幸せです。オリンピックでは記録更新はもちろん、各国の選手との相互理解や友好親善を深めてほしいです。

*タイムを測るための分針と秒針のみの時計



水泳の練習風景。水温が32℃以上になり、練習を行うには危険な状態になることも。選手の安全と事故防止に細心の注意を払う。

player's DATA
ガビン・モゴバ選手

- ① 2018年アフリカンオープン66kg級優勝。
- ② 長い手足を生かした攻撃柔道。アフリカ選手の中でずば抜けているスタミナに自信あり。
- ③ 19年に日本へ柔道留学し、厳しい環境に身を置いて努力してきた。今年5月の選考でオリンピック出場権を獲得したい。



井坪先生記念道場で稽古をする村上さんと井坪さんの教え子たち。オリンピックにボツワナの選手が出場することが井坪さんの夢だったという。

